

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度第2回新座市社会教育委員会議
開 催 日 時	平成30年11月12日（月） 午後2時00分から 午後2時55分まで
開 催 場 所	新座市役所第二庁舎 会議室2
出 席 委 員	平岡健二委員・渡部由美委員・嶋村清治委員・宮脇恵子委員・加藤良明委員・竹内勘次委員・結城美千代委員 (計7名)
事 務 局 職 員	教育長 金子廣志 教育総務部長 渡辺哲也 教育総務部副部長兼生涯学習スポーツ課長 金子啓一 生涯学習スポーツ課副課長 斉藤政登 生涯学習スポーツ課生涯学習・文化財係長 西珠世 生涯学習スポーツ課主任 柴崎香織
会 議 内 容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 挨拶</li> <li>3 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「第2次新座市文化芸術振興アクションプラン（平成28年度～平成32年度）」進捗状況について</li> <li>(2) 平成31年度生涯学習スポーツ課予算編成状況について</li> <li>(3) 平成31年度社会教育団体補助金交付予定について</li> <li>(4) その他</li> </ol> </li> <li>4 閉会</li> </ol>

<p>会議資料</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 次第</li> <li>2 平成30年度新座市社会教育委員委嘱者名簿</li> <li>3 【資料1】「第2次新座市文化芸術進行アクションプラン（平成28年度～平成32年度）」進捗状況</li> <li>4 【資料2】平成31年度生涯学習スポーツ課予算編成状況について・平成31年度社会教育団体補助金交付予定について</li> <li>5 新座快適みらい都市市民まつり第54回文化祭パンフレット</li> <li>6 平成30年度新座市内大学公開講座パンフレット</li> <li>7 きかんしゃトーマスクリスマスコンサートパンフレット</li> <li>8 ザヤングアメリカンズワールドツアーパンフレット</li> <li>9 睡足軒の森紅葉ライトアップパンフレット</li> <li>10 新羅郡の時代を探るパンフレット</li> <li>11 人権問題講演会パンフレット</li> <li>12 第50回関東甲信越静社会教育研究大会埼玉大会パンフレット</li> </ol>
<p>その他の 必要事項</p>	
<p>審査の内容（審査経過・結論等）</p>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 挨拶 教育長挨拶・加藤議長挨拶</li> <li>3 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「第2次新座市文化芸術振興アクションプラン（平成28年度～平成32年度）」進捗状況について <ol style="list-style-type: none"> <li>(ア) 資料に基づき事務局から説明を行った（以下補足説明）。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民まつり文化祭について、平成30年度は「新座快適みらい都市市民まつり文化祭」と名称を変更した。11月2日（金）から18日（日）までの期間、市民会館やふるさと新座館、に</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol> </li> </ol>	

いざほっとぷらざなどを会場とし、舞台発表や芸術展、将棋大会、俳句大会、茶の湯など、盛りだくさんの内容で開催している。

- ・ 睡足軒の森文化事業について、平成29年度は、春の文化の祭典、紅葉ライトアップ、市民呈茶などを開催した。平成30年度は、11月23日から30日までの期間、紅葉ライトアップを開催する。睡足軒の森では、庭園の整備に伴い、睡足軒と紅葉亭の建物の一般貸出を休止している。
- ・ 市内大学公開講座については、市内にある跡見学園女子大学、十文字学園女子大学、立教大学に委託し、公開講座を実施するものである。内容としては、教養に関するものや、スポーツ教室など、大学の持つ人材や施設を活用し、質の高い講座を提供している。平成29年度の実績としては、10月から12月にかけて実施し、延べ984名の方が受講した。平成30年度も同時期で開催しており、今後開催されるものとして、12月8日（土）に、「市民のためのコンサート クリスマスコンサート～吹奏楽とジャズの調べ～」が立教大学で開催される。
- ・ 市民会館については、平成28年度から指定管理者制度を導入している。管理運営は㈱ケイミックスパブリックビジネスに委託しており、ホールを活用した公演や、会議室を活用したカルチャー教室など、市民の文化的向上と福祉の増進につながる自主事業を年間13回から15回程度開催している。なお、本年度をもって、現在の指定管理期間が終了するが、来年度からの5年間についても、同じ会社を指名により指定管理者の候補者として選定し、平成30年第4回市議会定例会で審議を行う。
- ・ 福祉の里図書館と分館5館については、平成31年度から3年間、指定管理者制度を導入する予定となっており、現在、候補者の選定を行っている。平成30年第4回市議会定例会で審議を行う。
- ・ ふるさと新座館については、平成30年度から指定管理者制度を導入したところである。管理運営は㈱セイウンに委託しており、年間6回程度ホールにおいて自主事業を開催している。
- ・ 平成24年3月に策定した「野火止用水・平林寺の文化的景観

保存計画」を推進し、市民に周知啓発することを目的とし、「未来に残したい野火止用水の風景展」を開催している。市内小・中学生から募集した野火止用水の風景に関する絵画等を選考し、市民まつり文化祭小中展示で展示したほか、11月17日（土）から12月2日（日）までの期間、野火止用水本流沿いで展示を行う予定である。

- ・ 遺跡発掘調査について、平成29年度の実績としては、大和田二・三丁目地区土地区画整理事業に先立つ発掘調査を実施した。平成30年度は大和田カミ遺跡の報告書の作成に向けて整理作業を行っているところである。平成30年11月15日から12月2日まで、和光市教育委員会の主催で、新座市・朝霞市・志木市の教育委員会の共催により「新羅郡の時代を探る」を開催する。内容としては、4市で発掘した奈良・平安時代の出土品を展示し、併せて、専門家や各市の担当者が発表を行い、討議を行うシンポジウムを開催する。本市からは、大和田カミ遺跡の出土品を展示するほか、大東文化大学文学部教授で本市の教育委員である宮瀧交二氏による基調講演、生涯学習スポーツ課の学芸員による遺跡に関する報告などを行う。
- ・ 本年度、総合運動公園と市民総合体育館のトイレを洋式化する工事を行う。両施設については、2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、ブラジル選手団の事前トレーニングキャンプが予定されている。

(イ) 質疑応答・意見交換

- ・ 熊谷市内で埋蔵金が発見されたニュースを見た。新座市では遺跡発掘の際に価値のあるものや珍しいものが発見されたことはあるか。
  - 過去に埋蔵金の発見はない。大和田カミ遺跡や嵯峨山遺跡では、甕や土器、住居跡等が発見されており、当時の暮らしを推定することができる文化財として重要な意味を持つ。大和田カミ遺跡では、鎌倉道に続く道が発見され、都市化が進んでいたことが伺われる。また、文化財ではないが、不発弾が発見された。
- ・ 大和田カミ遺跡で発掘された出土品の貯蔵場所はあるのか。

- 現在は、新座小学校遺跡資料室や調査委託先の会社に保管しているが、今後も同様の出土品が増えていくことが想定されるため、保管場所の確保は課題である。
- ・ すぐそこ新座春まつりはなぜ中止になったのか。何年続いた催しなのか。
  - すぐそこ新座春まつりは平成29年度まで10年間実施してきたが、その翌年度から中止となった。例年、4月の第1土曜日及び日曜日に開催していたが、天候が不安定な時期であること、会場の確保が難しいこと等から事業の在り方の見直しを行った結果、中止することとなった。春まつりの中で開催していたうどんまつりは、平成30年度からは産業フェスティバルと同時開催している。
  - 会場を分散すれば、場所の問題は解決するのではないか。
- ・ 睡足軒の利用については、来年度から変更はあるのか。
  - 庭園整備については、3月末の予定であったが、10月まで延期する可能性がある。そのため、平成31年度は、紅葉ライトアップを含めて、睡足軒の森で実施している事業は休止する。市民呈茶はこれまでどおり実施する。
- ・ 市民会館の稼働率について、40%から50%程度と報告があるが、どのような評価であるか。他市の類似施設と比較してどうなのか。
  - 平成29年度はホールの改修のため、2か月利用を休止したことが稼働率の低下の主な要因である。平成27年度の市直営時に35%であったホールの稼働率が平成28年度は51%に上昇している。和光市のように立地条件のよい市民会館は稼働率が高くなる傾向があるが、本市の市民会館は立地条件に恵まれない中、指定管理者制度導入の成果が出ていると考えている。
- ・ 新座快適みらい都市市民まつり文化祭の名称は、どのような経緯で変わったのか。市民への周知が不足していたのではないか。
  - 市民まつりについては、これまで「市民まつり運営委員会」という統括組織があったが、今年度から、運営委員会を廃止し、各祭典の実行委員会で運営を行うことになった。「新座快適み

らい都市」というキャッチフレーズは、市長の公約で掲げられているものである。シティプロモーションの観点から、市民まっりの各祭典における統一したスローガンをつけた。

(2) 平成31年度生涯学習スポーツ課予算編成状況について

(ア) 資料に基づき事務局から説明を行った（以下補足説明）。

- ・ 現在、平成31年度に向けて予算編成作業を進めているところである。
- ・ 平成31年度に実施を予定している事業として、放課後子どもの居場所づくり事業として実施している「ココフレンド」の増設、日本サッカー協会の社会貢献事業である「心のプロジェクト（夢の教室）事業」、2020年の市制施行50周年に向けた市史編纂事業がある。
- ・ 以上のような事業について、現在は検討段階であり、査定等により今後変更が生じる可能性がある。正式には、平成31年第1回市議会定例会における議決を経て決定することになる。

(イ) 質疑応答

なし

(3) 平成31年度社会教育団体補助金交付予定について

(ア) 資料に基づき事務局から説明を行った（以下補足説明）。

- ・ 新座市文化協会、新座市PTA・保護者会連合会及び新座市婦人会連合会への補助金については、前年度同額を予定している。正式には、平成31年第1回市議会定例会における議決を経て決定することになる。

(イ) 質疑応答

なし

(4) その他

(ア) 資料に基づき事務局から説明を行った（以下補足説明）。

- ・ 関東甲信越静社会教育研究大会について、平成31年度は埼玉県川越市で開催される。この大会は関東甲信越静各都県及び政令指定都市で開催地持ち回りにより開催しているものである。出欠については、次年度確認する。
- ・ 社会教育委員の任期は、平成32年3月31日までである。現委員には、平成31年度も引き続き就任していただくよう御

協力をお願いしたい。

(イ) 質疑応答

なし

**4 閉会**

宮脇副議長挨拶